



読りーむ in ちの賞を受ける睦斗さん㊦

ど 読りーむ in ちの賞に

湖東小
6 年

大藤睦斗さん

第18回茅野市小中高校生調べる学習コンクール

2024(令和6)年度第18回茅野市小中高校生調べる学習コンクール(市、市教育委員会、市校長会主催)で、読りーむ in ちの賞に湖東小6年、大藤睦斗さんの「いとをかし! 枕☆草紙」が選ばれました。

11月5日、市役所で行った表彰式では、奥原貴美子読りーむ in ちの会長から賞状が授与されました。応募は小学生の部が983人(991作品)、中学生の部398人(398作品)の計1,381人(1,389作品)。



授賞式後、睦斗さんにインタビューしました。

睦斗さんが枕草子と作者の清少納言に興味を持ったのは、1,000年も昔の文章が現代でも読まれているのはすごいと思ったことと、お母さんから『枕草子』にはほかにも面白いことを書いていて聞いたから。

調べる学習作品に睦斗さんは「調べていくと いとをかし、な事柄を風情とユーモアたっぷりに書いていることに共感できるし、清少納言自身の魅力が伝わってきてカッコよく見える」と書いています。また、自身が作った「オレの草紙! 春夏秋冬」も必見です。

睦斗さんは読書が好きで、現在は戦国武将の伝記に興味を持ち、お気に入りの武将は武田信玄。読書が習慣になっていて、就寝前に30分ほど読んでいるそうです。



睦斗さんにインタビュー
聞き手・奥原読りーむ in ちの会長

朝の絵本の時間を見学

保育園・認定こども園の5園で



『カブトくん』の読み聞かせを見学（宮川第二保育園）

今年度の「朝の絵本の時間」見学会は9月4日の宮川第二保育園を皮切りに、12月12日まで、ちのせいぼ幼稚園（私立認定こども園）、米沢、玉川、湖東保育園の5園で実施しました。

第4次茅野市こども読書活動推進計画（こども読書の森づくりプラン）に基づき、朝の絵本の時間を公開してもらい、園の読書活動について理解を深めるとともに、家庭や地域の読書活動の充実に生かしていくのが目的。2002（平成14）年から毎年実施しています。

昨年度までは、0、1歳児から年長児まで全クラスを対象にしていたが、今年度からファーストブック手渡し後の0、1歳児と、セカンドブック手渡し前

の年長児の様子を重点に見学会を計画。各園に読りーむ in ちのメンバー5人前後が出向きました。

このうち宮川第二保育園の5歳児ばら組（12人）では、『カブトムシ』（タダサトシ作 こぐま社）の読み聞かせ。カブトムシに名前を付けて大切に育て、屋外で虫カフェを開くなど、`命、にふれていることから選んだ本。カブトムシと一緒に遊べるという話に、子どもたちは飼っているカブトムシとイメージを重ね、時には聴き入り、時には自分が登場人物の一員になったかのように夢中になって声をあげていました。

読りーむ in ちの

ファーストブック寄贈 補充

茅野市内の医療機関・施設に

読りーむ in ちのは12月18日から23日まで、茅野市内の医療機関4カ所と1施設にファーストブックをプレゼントしました。

2004（平成16）年に市内の12カ所にファーストブックを寄贈以来継続している事業。新規寄贈と補充は5年ぶり。診療の待ち時間に、親子で絵本を楽しむことができればとの願いを込めています。

新規開院したこまつ歯科医院（ちの塚原）、わたなべ小児科医院（玉川神ノ原）に30冊のセットを、リバーサイドクリニック（宮川中河原）と平出クリニック内科・産婦人科（ちの上原）、おやすみ館（玉川神ノ原）には傷んだ本の補充計16冊を寄贈しました。

9月、10月に新規寄贈と補充の希望調査し、その回答によるプレゼントとなりました。

寄贈を受け、「今回新規で申し込みました。すでに親子連れや多くの子どもたちに利用され、本当に重宝しています。ありがたい。まだ置いていない医療機関にはお勧めです」（こまつ歯科医院）、「3分の1に当たる10冊前後が傷んでいたの、補充は本当に助かりました。受診、予防接種や検診の子どもたちが落ち着いて待ち時間を過ごせます」（リバーサイドクリニック）と話していました。

今後も地域社会の読書推進に貢献する活動を続けていきます。



新規にファーストブックを寄贈（こまつ歯科医院）



大谷選手から贈られたグローブの感触を確かめる児童①

読りーむ in ちののパネルシアター②

パネルシアターと大谷選手

宮川地区子ども館でおはなし会

読りーむ in ちのメンバーによるパネルシアターと、宮川小学校読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせおはなし会が12月6日、宮川地区子ども館「きてみてどん」で開催し、子ども8人、大人16人が参加しました。

読りーむ in ちのメンバーはブラックパネルシアター『森のクリスマス』『あわてんぼうのサンタクロース』を演じました。子どもたちは暗い中で光るブラックパネルシアターに「きれい」と声をあげ喜んでいました。読み聞かせは、メジャーリーグで活躍中の大谷選手の半生を描いた絵本『野球しようぜ！ 大谷翔平ものがたり』。

大谷選手が全国の小学校に贈ったグローブを宮川小学校から借り、見てもらったり触ってもらったり。子どもたちは、グローブを手にはめて感触を確かめたり、転がしたボールをキャッチしたりして大喜びでした。

少人数でもにぎやか

茅野市図書館 第5土曜のおはなし会 11月

楽しいおはなし会、第5土曜の



読りーむ in ちのが担当している、茅野市図書館第5土曜の楽しいおはなし会。11月30日は5組の親子連れを含む15人が集まりました。

大型絵本『おめんです』では、ページをめくると「お面をかぶっているのはだあれ？」と声をそろえ、お面の下からどんな顔が出てくるかを楽しみました。手あそびうた、紙芝居『ぶうらんぶうらんたのしいね』、語り『かえるになったぼたもち』は、小さい子どもには難しいかと思われましたが、重箱からかえるが飛び出す場面で5歳の女の子が大笑いしてくれたので、みんなも引き込まれて笑いの渦となりました。

カレンダー式・繰り返し紙芝居『りすとどんぐり』では、りすと一緒にかわいいくしゃみを何度もしました。笑いあるにぎやかな会でした。次回は3月29日。

日程決定 実行委立ち上げ

昨年創立25周年を迎えた、読書の森 読りーむ in ちのは今年、記念事業として講演会と式典を計画しています。これを機に、活動を振り返るとともに、新たな未来へ向けての第一歩をともに築いていきましょう。

記念事業の準備と運営を進めるため、「25周年記念事業実行委員会」を立ち上げました。企画内容の検討、広報活動、記念イベントの準備などを中心に活動します。記念事業の日程、実行委員会委員は次のとおりです。

【記念講演会とワークショップ】

開催日 7月13日(日)

会場 茅野市立永明小中学校 永明ホール

内容 午前9時30分～11時30分 ワークショップ「鳥の巣つくろう」

午後1時30分～4時 記念講演会

「絵本と鳥の巣のふしぎ—鳥の巣が教えてくれること」(仮題)

講師 鈴木まもるさん(絵本作家・鳥の巣研究家)



『鳥の巣ものがたり』
鈴木まもる 作・絵
偕成社

【記念式典】

日時 11月9日(日) 午前11時～午後2時(予定)

会場 マリオローヤル会館 茅野駅前ベルビア3階

内容 検討中

【実行委員会委員】

五味一男実行委員長、奥原貴美子会長、赤沼今朝廣副会長、高木みゆき同、荒木真理子、鏑木喜久美、山脇勝典、両角薫、大西恵美、品川澄子、小田由美、平澤治子、山根やちよ

私の1冊

『きつねのおはなはん』

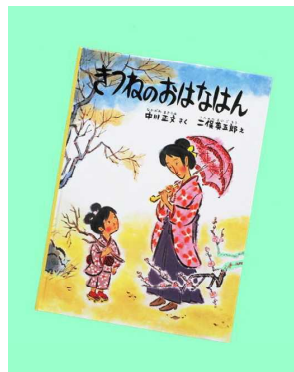
中川正文 さく 二俣英五郎 え
福音館書店

きつねやたぬきの絵本が多い中、46年前に月刊こどものともから出た『きつねのおはなはん』は、私の心にずっと入りました。

ぜんきょうじに住んでいるおはなはんは、明治のハイカラさんに化けてひらひらのパラソルをさし、しゃなりしゃなりと村の中を歩きまわるのが得意なきつね。村のマンケはん頼まれて、娘のおたまちゃんに英語を教えたり、木の葉をお金に替える方法を教えたりと、ユーモアに包まれ人情味たっぷりで、人間ときつねの交流がほっこりします。

はらかな時代の暮らしの息吹も感じられ、秋の陽光の中や、冬の足音が感じられる頃になると出合いたい絵本です。

平澤治子



読書の森 読りーむ in ちの 25周年記念事業

本との思い出を聴かせて!



読書の森 読りーむ in ちのは活動25周年を迎えました。
これを記念し、赤ちゃんが誕生したときに贈られたファーストブックや小学校入学時に贈られたセカンドブックに関する思い出を募集します。



応募は
こちらの
QRコードで



◆問い合わせ
読書の森 読りーむ in ちの事務局
(茅野市教育委員会 生涯学習課内)
電話 0266-72-2101 内線635
ファクス 0266-82-0237
Eメール dokushoc@city.chino.lg.jp